

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

小児血液腫瘍性疾患を対象とした二次がん発症に関するケースコントロール研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院小児科

【研究責任者】 森谷京子（小児科 助教）

【研究代表者】 早川 晶（淀川キリスト教病院 緩和医療内科 医長）

【研究の目的】 JACLS（小児白血病研究会（Japan Association of childhood Leukemia Study）に、登録された小児血液腫瘍性疾患患者さんに対する治療内容（照射、抗悪性腫瘍剤など）や患者さんの疾患の持つ性質などが、二次がんを発生するリスクに影響を及ぼしているかを検討することといたしました。この研究によって、急性リンパ性白血病の治療後の二次がんの種類と頻度を明らかにし、その原因としての治療内容との関連を明らかにしたいと考えております。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 1991年1月から2011年12月までにJACLS疫学研究に登録された5812例のうち、初発血液腫瘍性疾患の診断名を受けた方。

（利用するカルテ情報）

患者基本情報（診断時年齢、性別）、疾患情報（疾患名、診断日、治療プロトコル名）、治療情報（治療プロトコル名、抗腫瘍薬剤(エトポシド、シクロホスファミド、アンソラサイクリン)及び最終治療薬剤投与日、照射(全身放射線照射、全脳全脊髄照射、その他)及び最終放射線照射終了日)、有効性評価項目（二次がん、再発、寛解導入の有無、及び診断日、最終転帰、最終転帰確認日）

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化された状態でデータセンターに、送付いたします。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜情報の管理責任者＞ 齋藤明子 （名古屋医療センター 臨床研究センター
臨床試験研究部 臨床疫学研究室）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院小児科 森谷京子
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5320